

2021/1~2021/3 にっしん景況レポート

2021/4

Vol.
20



日新信用金庫では、当金庫営業エリア内で事業を営む経営者の皆様からご協力をいただき、2021年1~3月の景気の現状と2021年4~6月期の見通しを調査する景気動向調査を実施しました。

対象業種は、製造業、卸売業、小売業、サービス業、建設業、不動産業の6業種です。

〈調査概要〉

1. 調査対象期間 : 2021年1~3月の実績(3月については予想)
2021年4~6月の見通し
2. 調査方法 : 営業店調査員による面接聴き取り
3. 調査対象先 : 当金庫営業エリア内の362社
4. 分析方法 : D.I.という指標を用いた分析。
D.I.とは、ディフュージョン・インデックス (Diffusion Index) の略で、各質問項目について、「増加(良い、上昇)」とプラスの回答をした企業の割合(%)から、「減少(悪い、下降)」とマイナスの回答をした企業の割合(%)を差引いた指標で、構成比の差が判断D.I.となります。
各回答がプラス、マイナスどちらの方向に向かっているか、上向きの力が強いのか、下向きの力が強いのかを示す指標となります。
5. 期間について : 今期 = 2021年1~3月
前期 = 2020年10~12月
前年同期 = 2020年1~3月
来期 = 2021年4~6月
6. 業種別、地区別回答数

	地区合計	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業
明石地区	153	49	22	18	25	19	20
三木地区	55	18	10	6	8	9	4
神戸地区	154	24	24	17	40	26	23
業種合計	362	91	56	41	73	54	47

●今期の景況

今期（2021年1月～3月）は景気判断の目安となる全業種における業況判断D.I.が▲37.6となり、前期（2020年10月～12月）に比べ4.2ポイント低下した。売上額判断D.I.は▲35.4、収益判断D.I.は▲37.6となり、同様に前期と比べそれぞれ20.2ポイント、19.9ポイント低下した。

昨年末からの新型コロナウイルス感染再拡大により、2回目の緊急事態宣言が発令された影響を受け、持ち直し傾向にあった経済活動が再び下振れしている。

雇用面では、人手不足判断D.I.が▲13.8となり、前期実績より10.5ポイント改善した。依然として人手不足感はあるものの、やや緩和してきている。

●来期の見通し

来期（2021年4月～6月）の予想業況判断D.I.は▲29.8と今期実績からの改善を見込む。新型コロナウイルス感染の影響が尾を引く状態は続くが、ワクチン接種の開始により、景気の回復期待が高まり始めている。

〈「御社の業況」回答数〉

	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	合計
回答数	6	38	138	135	45	362*
回答割合	1.7%	10.5%	38.1%	37.3%	12.4%	100%

業況判断D.I. = 12.155% - 49.724% ≒ -37.6

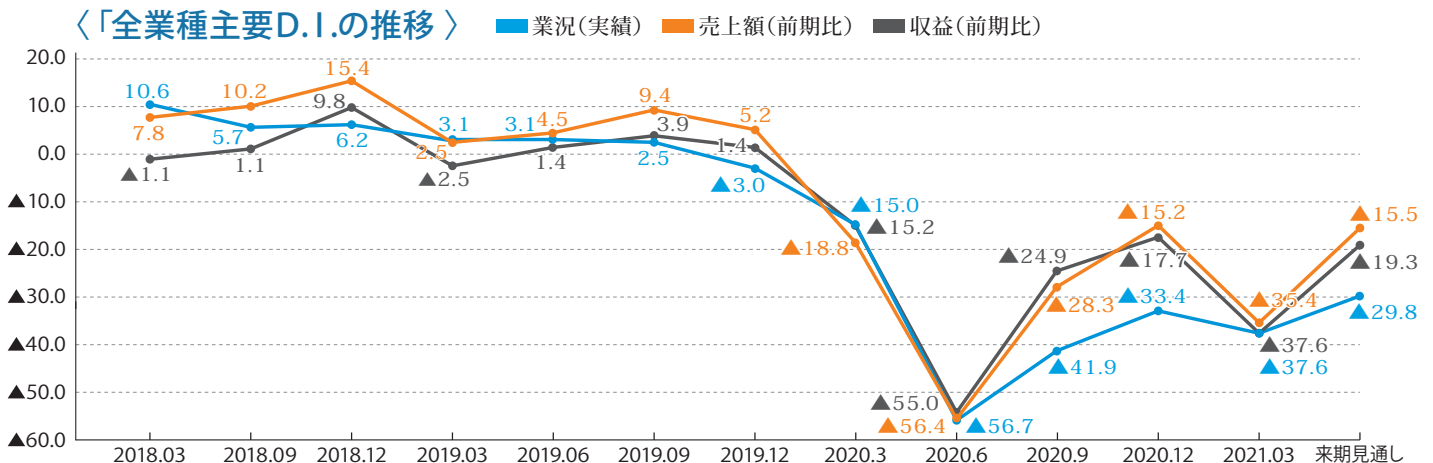
〈2021年1～3月地区別業況判断D.I.〉

	全業種	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業
明石地区	▲39.2	▲42.9	▲72.7	▲50.0	▲40.0	▲26.3	5.0
三木地区	▲29.1	▲22.2	▲30.0	▲50.0	▲50.0	▲22.2	0.0
神戸地区	▲39.0	▲33.3	▲79.2	▲35.3	▲62.5	▲11.5	4.3
全地区	▲37.6	▲36.3	▲67.9	▲43.9	▲53.4	▲18.5	4.3

〈全業種総合主要D.I.〉

	前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)		前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)
業況(実績)	▲33.4	▲37.6	▲29.8	販売価格(前期比)	▲2.2	▲6.9	▲0.8
売上額(前期比)	▲15.2	▲35.4	▲15.5	仕入価格(前期比)	13.8	17.1	18.2
売上額(前年同期比)	▲40.6	▲44.5	—	資金繰り(楽-苦)	▲3.6	▲7.2	▲4.7
収益(前期比)	▲17.7	▲37.6	▲19.3	人手不足(過剰-不足)	▲24.3	▲13.8	▲18.5
収益(前年同期比)	▲40.3	▲40.6	—				

〈「全業種主要D.I.の推移」〉



● 今期の景況

今期の業況判断D.I.は▲36.3となり、前期実績と比して6.3ポイント低下した。

収益面では、売上額判断D.I.は▲29.7、収益判断D.I.は▲30.8となり、前期実績と比してそれぞれ26.4ポイント、30.8ポイント低下した。また売上額判断D.I.の前年同期比は▲40.7、収益判断D.I.の前年同期比は▲31.9となり、昨年と同じ時期に比べ売上額および収益は減少したと回答した企業の割合が多い結果となった。

雇用面では、人手不足判断D.I.が▲5.5となり、前期実績から11.2ポイント改善しており、人手不足感がやや緩和している。

● 来期の見通し

来期の予想業況判断D.I.は▲30.8と今期実績から改善する見通しとなっている。収益面では、予想売上額判断D.I.は▲15.4、予想収益判断D.I.は▲12.1となり、今期実績から売上額および収益は改善する見通しとなっている。

〈 製造業主要D.I.〉

	前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)		前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)
業況(実績)	▲ 30.0	▲ 36.3	▲ 30.8	販売価格(前期比)	▲ 2.2	▲ 11.0	▲ 3.3
売上額(前期比)	▲ 3.3	▲ 29.7	▲ 15.4	仕入価格(前期比)	16.7	23.1	20.9
売上額(前年同期比)	▲ 34.4	▲ 40.7	—	資金繰り(楽-苦)	3.3	▲ 2.2	4.4
収益(前期比)	0.0	▲ 30.8	▲ 12.1	人手不足(過剰-不足)	▲ 16.7	▲ 5.5	▲ 13.2
収益(前年同期比)	▲ 31.1	▲ 31.9	—				

● 今期の景況

今期の業況判断D.I.は▲67.9となり、前期実績と比して20.5ポイント低下した。

収益面では、売上額判断D.I.は▲58.9、収益判断D.I.は▲57.1となり、前期実績と比してそれぞれ32.6ポイント、22.0ポイント低下した。また売上額判断D.I.の前年同期比は▲50.0、収益判断D.I.の前年同期比は▲46.4となり、昨年と同じ時期に比べ売上額および収益は減少したと回答した企業の割合が多い結果となった。

雇用面では、人手不足判断D.I.が▲7.1となり、前期実績から6.9ポイント改善しており、人手不足感がやや緩和している。

● 来期の見通し

来期の予想業況判断D.I.は▲37.5と今期実績から改善する見通しとなっている。収益面では、予想売上額判断D.I.は▲8.9、予想収益判断D.I.は▲16.1となり、今期実績から売上額および収益は改善する見通しとなっている。

〈 卸売業主要D.I.〉

	前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)		前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)
業況(実績)	▲ 47.4	▲ 67.9	▲ 37.5	販売価格(前期比)	▲ 10.5	0.0	7.1
売上額(前期比)	▲ 26.3	▲ 58.9	▲ 8.9	仕入価格(前期比)	1.8	17.9	26.8
売上額(前年同期比)	▲ 45.6	▲ 50.0	—	資金繰り(楽-苦)	▲ 14.0	▲ 7.1	▲ 12.5
収益(前期比)	▲ 35.1	▲ 57.1	▲ 16.1	人手不足(過剰-不足)	▲ 14.0	▲ 7.1	▲ 7.1
収益(前年同期比)	▲ 45.6	▲ 46.4	—				

● 今期の景況

今期の業況判断D.I.は▲43.9となり、前期実績と比して変わらなかった。

収益面では、売上額判断D.I.は▲43.9、収益判断D.I.は▲48.8となり、前期実績と比してそれぞれ29.3ポイント、26.8ポイント低下した。また売上額判断D.I.の前年同期比は▲46.3、収益判断D.I.の前年同期比は▲56.1となり、昨年と同じ時期に比べ売上額および収益は減少したと回答した企業の割合が多い結果となった。

雇用面では、人手不足判断D.I.が▲22.0となり、前期実績から2.4ポイント改善したものの、依然として人手不足感が強い状況となっている。

● 来期の見通し

来期の予想業況判断D.I.は▲36.6と今期実績から改善する見通しとなっている。収益面では、予想売上額判断D.I.は▲17.1、予想収益判断D.I.は▲19.5となり、今期実績から売上額および収益は改善する見通しとなっている。

〈小売業主要D.I.〉

	前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)		前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)
業況(実績)	▲43.9	▲43.9	▲36.6	販売価格(前期比)	9.8	▲9.8	0.0
売上額(前期比)	▲14.6	▲43.9	▲17.1	仕入価格(前期比)	17.1	4.9	14.6
売上額(前年同期比)	▲51.2	▲46.3	—	資金繰り(楽-苦)	▲19.5	▲24.4	▲14.6
収益(前期比)	▲22.0	▲48.8	▲19.5	人手不足(過剰-不足)	▲24.4	▲22.0	▲26.8
収益(前年同期比)	▲53.7	▲56.1	—				

● 今期の景況

今期の業況判断D.I.は▲53.4となり、前期実績と比して5.5ポイント低下した。

収益面では、売上額判断D.I.は▲46.6、収益判断D.I.は▲49.3となり、前期実績と比してそれぞれ20.6ポイント、15.1ポイント低下した。また売上額判断D.I.の前年同期比は▲61.6、収益判断D.I.の前年同期比は▲57.5となり、昨年と同じ時期に比べ売上額および収益は減少したと回答した企業の割合が多い結果となった。

雇用面では、人手不足判断D.I.が▲24.7となり、前期実績よりも13.7ポイント改善したものの、依然として人手不足感が強い状況となっている。

● 来期の見通し

来期の予想業況判断D.I.は▲50.7と今期実績から改善する見通しとなっている。収益面では、予想売上額判断D.I.は▲16.4、予想収益判断D.I.は▲20.5となり、今期実績から売上額および収益は改善する見通しとなっている。

〈サービス業主要D.I.〉

	前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)		前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)
業況(実績)	▲47.9	▲53.4	▲50.7	販売価格(前期比)	▲1.4	▲8.2	▲2.7
売上額(前期比)	▲26.0	▲46.6	▲16.4	仕入価格(前期比)	8.2	16.4	12.3
売上額(前年同期比)	▲45.2	▲61.6	—	資金繰り(楽-苦)	▲11.0	▲23.3	▲17.8
収益(前期比)	▲34.2	▲49.3	▲20.5	人手不足(過剰-不足)	▲38.4	▲24.7	▲30.1
収益(前年同期比)	▲50.7	▲57.5	—				

○今期の景況

今期の業況判断D.I.は▲18.5となり、前期実績と比して3.7ポイント低下した。

収益面では、売上額判断D.I.が▲31.5、収益判断D.I.が▲37.0となり、前期実績と比してそれぞれ9.3ポイント、18.5ポイント低下した。また売上額判断D.I.の前年同期比は▲48.1、収益判断D.I.の前年同期比は▲42.6となり、昨年と同じ時期に比べ売上額および収益は減少したと回答した企業の割合が多い結果となった。

雇用面では、人手不足判断D.I.が▲22.2となり、前期実績から16.7ポイント改善したものの、依然として人手不足感が強い状況となっている。

○来期の見通し

来期の予想業況判断D.I.は▲24.1と今期実績から低下する見通しとなっている。収益面では、予想売上額判断D.I.は▲31.5、予想収益判断D.I.は▲35.2となり、今期実績から売上額は変わらず収益は改善する見通しとなっている。

〈建設業主要D.I.〉

	前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)		前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)
業況(実績)	▲14.8	▲18.5	▲24.1	販売価格(前期比)	▲7.4	▲13.0	▲11.1
売上額(前期比)	▲22.2	▲31.5	▲31.5	仕入価格(前期比)	27.8	16.7	18.5
売上額(前年同期比)	▲42.6	▲48.1	—	資金繰り(楽-苦)	3.7	5.6	7.4
収益(前期比)	▲18.5	▲37.0	▲35.2	人手不足(過剰-不足)	▲38.9	▲22.2	▲25.9
収益(前年同期比)	▲40.7	▲42.6	—				

○今期の景況

今期の業況判断D.I.は4.3となり、前期実績と比して17.1ポイント改善した。

収益面では、売上額判断D.I.は2.1、収益判断D.I.は0.0となり、前期実績と比して売上額は2.1ポイント改善し、収益は変わらなかった。また売上額判断D.I.の前年同期比は▲12.8、収益判断D.I.の前年同期比は▲8.5となり、昨年と同じ時期に比べ売上額および収益は減少したと回答した企業の割合が多い結果となった。

雇用面では、人手不足判断D.I.が▲4.3となり、前期実績から8.5ポイント改善しており、人手不足感がやや緩和している。

○来期の見通し

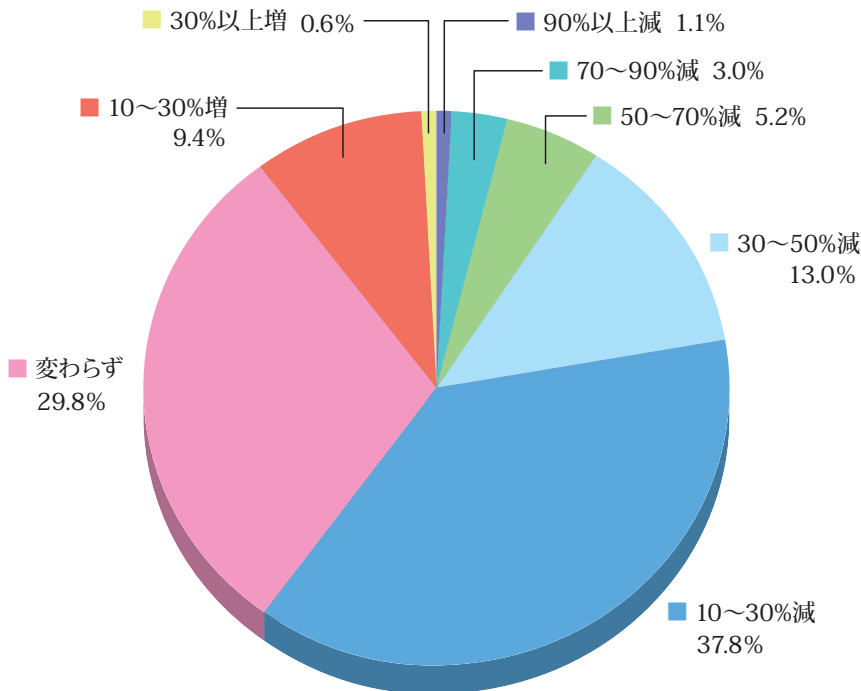
来期の予想業況判断D.I.は12.8と今期実績から改善する見通しとなっている。収益面では、予想売上額判断D.I.は▲2.1、予想収益判断D.I.は▲17.0となり、今期実績から売上額および収益は低下する見通しとなっている。

〈不動産業主要D.I.〉

	前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)		前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)
業況(実績)	▲12.8	4.3	12.8	販売価格(前期比)	2.1	4.3	8.5
売上額(前期比)	0.0	2.1	▲2.1	仕入価格(前期比)	12.8	17.0	14.9
売上額(前年同期比)	▲27.7	▲12.8	—	資金繰り(楽-苦)	12.8	8.5	2.1
収益(前期比)	0.0	0.0	▲17.0	人手不足(過剰-不足)	▲12.8	▲4.3	▲8.5
収益(前年同期比)	▲23.4	▲8.5	—				

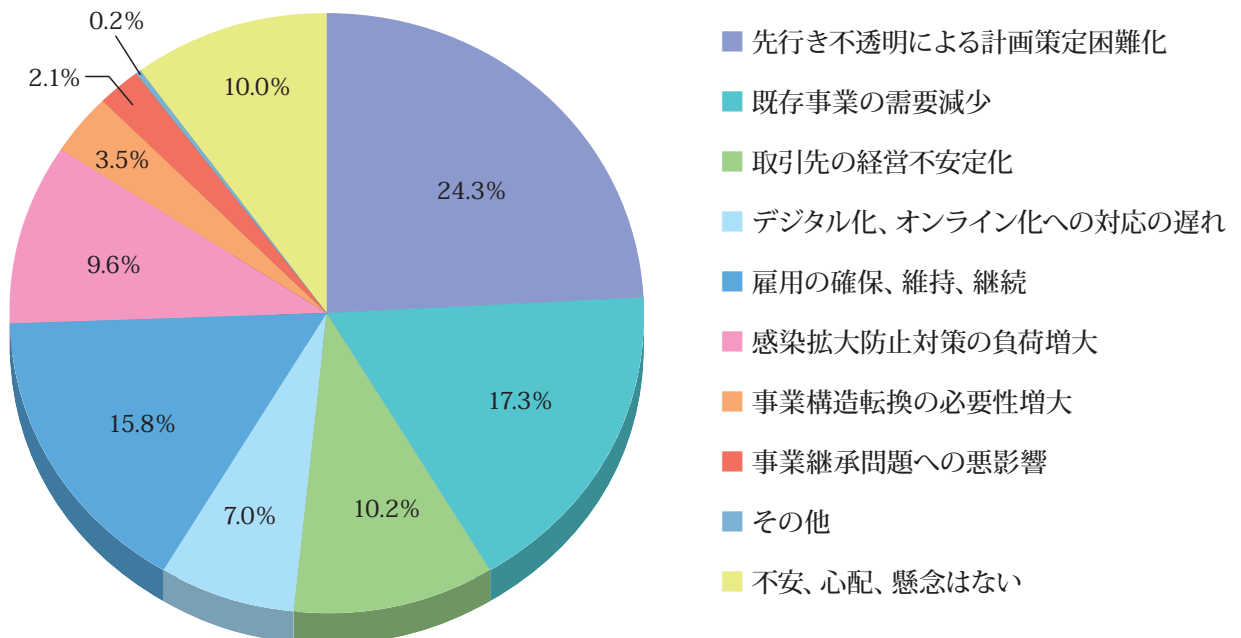
特別調査：「新型コロナ感染拡大長期化の影響と新常态（ニューノーマル）への対応について」

○～今期（1～3月）の売上は、新型コロナウイルスの影響がなかった例年の1～3月と比較してどの程度変化したか～



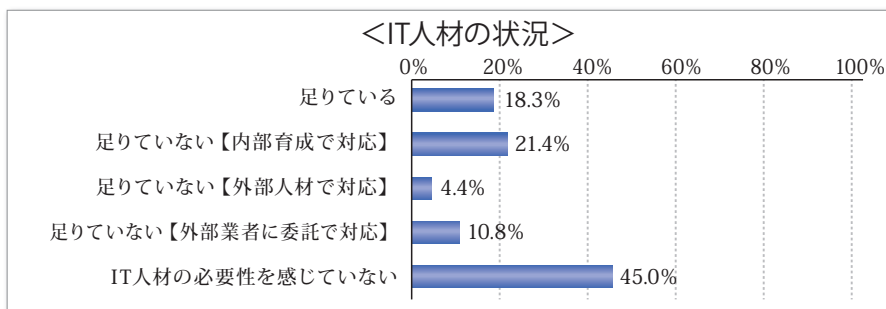
売上の変化については「10%以上30%未満減」が37.8%と最も多く、次いで「変わらず」が29.8%、「30%以上50%未満減」が13.0%、「10%以上30%未満増」が9.4%、「50%以上70%未満減」が5.2%、「70%以上90%未満減」が3.0%、「90%以上減」が1.1%、「30%以上増」が0.6%の順となった。

○～経済社会全体が新常态（ニューノーマル）へ移行していくなかで、事業継続上の不安・心配・懸念～

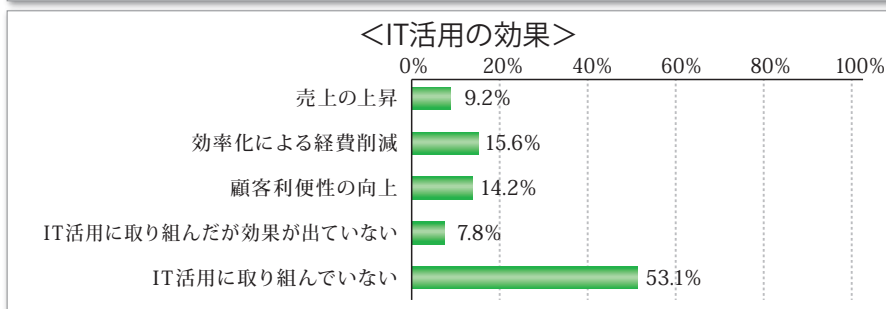


経済社会全体が新常态（ニューノーマル）へ移行していくなかで、事業継続上の不安・心配・懸念については、「先行き不透明による計画策定困難化（24.3%）」が最も多く、次いで「既存事業の需要減少（17.3%）」、「雇用確保、維持、継続（15.8%）」、「取引先の経営不安定化（10.2%）」、「不安、心配、懸念はない（10.0%）」、「感染拡大防止対策の負荷増大（9.6%）」、「デジタル化、オンライン化への対応の遅れ（7.0%）」、「事業構造転換の必要性増大（3.5%）」、「事業継承問題への悪影響（2.1%）」、「その他（0.2%）」の順となった。

● ～新常態（ニューノーマル）へ向けて、IT人材の重要性が高まる状況ですが、IT人材はどのような状況ですか。また、IT活用はどのような効果を上げていますか。～

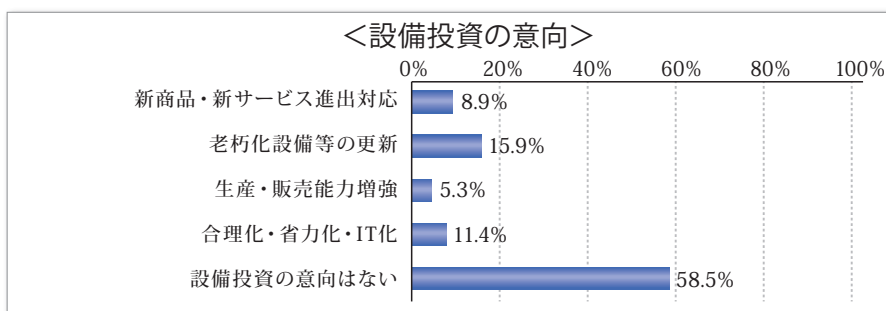


IT人材の状況については「IT人材の必要性を感じていない(45.0%)」が最も多く、次いで「足りていない【内部育成で対応】(21.4%)」、「足りている(18.3%)」、「足りていない【外部業者に委託で対応】(10.8%)」、「足りていない【外部人材で対応】(4.4%)」の順となった。

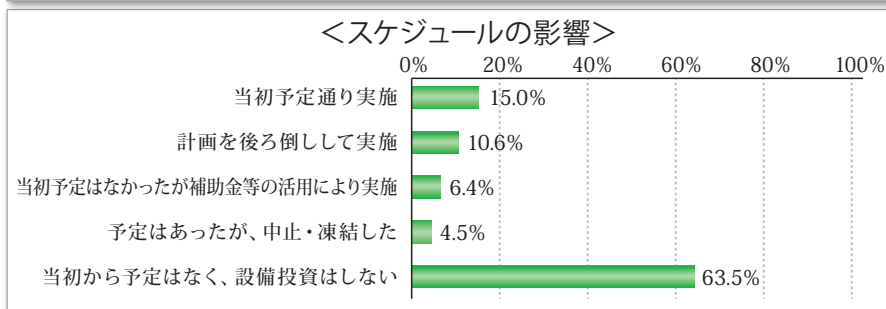


IT活用の効果については「IT活用に取り組んでいない(53.1%)」が最も多く、次いで「効率化による経費削減(15.6%)」、「顧客利便性の向上(14.2%)」、「売上の上昇(9.2%)」、「IT活用に取り組んだが効果が出ていない(7.8%)」の順となった。

● ～新常態（ニューノーマル）へ向けて、どのような設備投資の意向がありますか。また、コロナ禍は設備投資のスケジュールに影響を及ぼしていますか。～

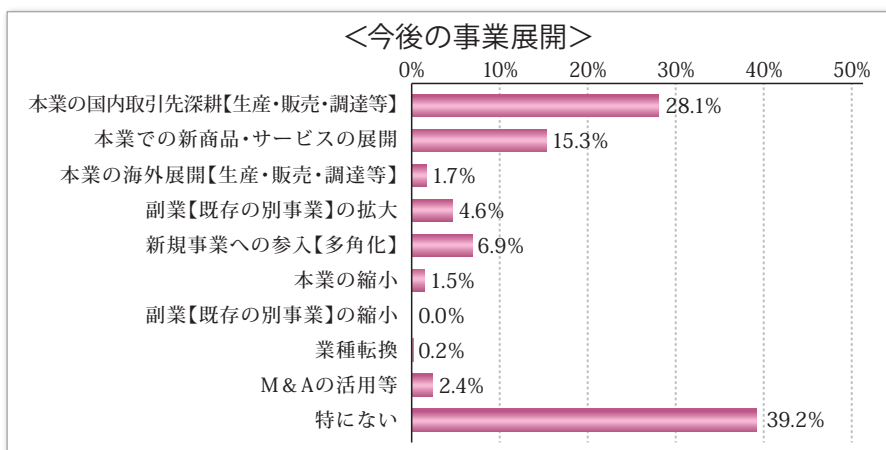


設備投資の意向については「設備投資の意向はない(58.5%)」が最も多く、次いで「老朽化設備等の更新(15.9%)」、「合理化・省力化・IT化(11.4%)」、「新商品・新サービス進出対応(8.9%)」、「生産・販売能力増強(5.3%)」の順となった。



スケジュールの影響については「当初から予定はなく、設備投資はしない(63.5%)」が最も多く、次いで「当初予定通り実施(15.0%)」、「計画を後ろ倒しして実施(10.6%)」、「当初予定はなかったが補助金等の活用により実施(6.4%)」、「予定はあったが、中止・凍結した(4.5%)」の順となった。

● ～今後どのような事業展開を実施・検討することが想定されますか。～



今後の事業展開については「特にない(39.2%)」が最も多く、次いで「本業の国内取引先深耕【生産・販売・調達等】(28.1%)」、「本業での新商品・サービスの展開(15.3%)」、「新規事業への参入【多角化】(6.9%)」、「副業【既存の別事業】の拡大(4.6%)」、「M&Aの活用(2.4%)」、「本業の海外展開【生産・販売・調達】(1.7%)」、「本業の縮小(1.5%)」、「業種転換(0.2%)」、「副業【既存の別事業】の縮小(0.0%)」の順となった。

イベント関連

現在、予定しているイベントは下記のとおりですが、新型コロナウイルス感染状況により中止又は延期させていただきます場合があります。

また、募集状況により受付を終了している場合があります。

●「小規模事業者持続化補助金セミナー」を実施します！

本セミナーでは、「小規模事業者持続化補助金」の概要や申請書のポイントについて、兵庫県よろず支援拠点の専門スタッフがわかりやすく説明します。

- 開催日時・会場：①令和3年5月14日(金) 14:00～16:00 日新信用金庫 本店7階
②令和3年5月19日(水) 14:00～16:00 日新信用金庫 三木支店
- 参加費：無料 ●定員：各日程8名

●「土曜創業相談会」を実施します！

創業をお考えの方や、創業して間もない方の様々なお悩みに、兵庫県よろず支援拠点の専門スタッフが応じます。

- 開催日時：①令和3年5月8日(土) 13:00～17:00
②令和3年6月12日(土) 13:00～17:00
③令和3年7月10日(土) 13:00～17:00
- 会場：明石商工会議所5階会議室
- 参加費：無料 ●定員：各日程4組(ご相談時間1組60分)

●「事業承継個別相談会」を実施します！

事業継承をお考えの方の様々なお悩みに、兵庫県よろず支援拠点の専門スタッフが応じます。詳しくはお取引店までお問合せください。

- 開催日時・会場：①令和3年5月17日(月)13:00～17:15 日新信用金庫 板宿支店
②令和3年6月16日(水)13:00～17:15 日新信用金庫 緑が丘支店
③令和3年7月12日(月)13:00～17:15 日新信用金庫 魚住支店
- 参加費：無料 ●定員：各日程3組(ご相談時間1組75分)

- 当金庫の情報発信ツールとしてLINE公式アカウントを発信しております。LINE公式アカウントでは当金庫からキャンペーン商品のご案内、地域貢献、地域イベントの紹介等を発信しますので、右記QRコードから「友だち」登録をお願いします。



<https://www.nisshin-shinkin.co.jp/>




このたびは、第20回中小企業景気動向調査にご協力いただきまして誠にありがとうございました。

調査結果についてのご照会、またご不明点等ございましたら、下記フリーダイヤルまでお問合せください。

 **日新信用金庫**

〒673-0892 兵庫県明石市本町2丁目3番20号

フリーダイヤル イコー ニッシンバンク
 **0120-15-2489**

(受付時間)平日午前9時から午後5時まで